

Aさんとであって

新野東小学校 一年 尾山 陽葵

おやま ひまり

(敬称略)

「せかいにつながるみんなのいのちたいせつに」というふだがわたしは好きです。なぜかというところ、せかいのともだちとなかよくしていききたいからです。これは、わたしが、3くのじんけんかるたとりたいたいはいではっぴよしたすきなふです。

7がつになってから、わたしたちのクラスには、ちようどがいこくからのともだちがくることになりました。わたしは、なかよくなりたいな、いっしょにべんきょうできるのたのしみだなとおもっていました。でも、ことばがつうじるかな、だいじょうぶかなというふあんもありました。

わたしたちは、Aさんのかんげいはいをしました。いっしょにうたをうたったり、おどったりしたあとに、じこしようかいをえいごでしたり、フランスクイズをしたりしました。Aさんは、わたしたちのじこしようかいをいっしょけんめいきいてくれて、クイズにもこたえてくれました。Aさんがずっとたのしそうで、うれしかったです。みんなできょうりよくしてかいをしてよかったとおもいました。

せいかつのじかに、Aさんがなかなかほんごのぶんがかけなくてこまっていたとき、わたしは、Aさんがいつていることをききながらいっしょにぶんをつくりました。Aさんは、すぐうれしそうに「ひまりちゃん、ありがとう。」といってくれました。このとき、Aさんとよりなかよくなれたきがしました。それから、Aさんはまいにちえがおでとうこうし、Aさんがすきなものやフランスのことなどをおしえてくれました。2しゅうかん、わたしもとてもたのしかったです。

ここで、Aさんとなぜなかよくなれたかをかんがえてみました。それは、Aさんのことをおもって、いろいろやったことが、Aさんにつうじたからだとおもいます。Aさんのことをうけいれて、わかりあえたからだとおもいました。Aさんとこれからもずっとなかよしのともだちでいたいです。